

## 第23回全国大会（香川大会）

### 大会テーマ「10年で何が変わったか」

#### －公文書館法と史料保存－

本会第23回目の全国大会が、11月12日（水）～14日（金）に香川県高松市を会場として開催されます。大会企画委員会では、会員の皆様からのアンケートや役員会での意見を基にして、上記の大会テーマを設定いたしました。公文書館法公布から10年目を迎え、法や制度面を中心に現在の状況と課題を見つめ、今後の史料保存利用活動を展望しようとするのが今大会のテーマの趣旨です。

また、今回も大会テーマ研究会の他、自由テーマ研究会や機関会員刊行物展示・協賛企業展示、施設見学等を予定しています。大会参加・宿舎の申込方法、自由テーマの応募方法は、別途お知らせした「開催要領」のとおりですので、奮って御参加いただきますようお願い申し上げます。

#### － 大会概要 －

##### ①日程と概略

11月12日（水）

##### 《研修会》

午前・午後各3コマのうち、1コマずつを選択して受講してください。

##### 《総会》

平成8年度事業報告・決算報告、役員改選、平成9年度事業計画・予算案等を協議していただきます。

##### 《懇親会》

全国各地から集った史料保存運動関係者どうしの出会いの場、旧交を温める場、また情報交換の場となります。

11月13日（木）

##### 《自由テーマ研究会（分科会方式）》

個人や機関・団体で研究・検討している事例や、日頃の業務の中で問題となっている課題等を紹介し、討議する研究会です。関心のある分科会に参加して、議論を深めてください。

##### 《大会テーマ研究会（全体会方式）》

史料保存利用活動及び文書館制度の拡充によって、そのよって立つ法的基盤となった公文書館法ですが、早くからその弱点や問題点も指摘されています。これらの点を改めて確認するとともに、この10年の間に変化している史料保存問題を取り巻く社会的状況を、広くとらてみたいと思います。

11月14日（金）

##### 《大会テーマ研究会（分科会方式）》

公文書館法と史料保存に係わる活動が、具体的にどう結びつき、どう結びついていないのか、具体的事例をとおして考えたいと思います。様々な史料保存の現場から報告をいただく中で、今後を展望します。

##### 《香川県立文書館の紹介・施設見学》

香川県立文書館は、平成6年3月に県立図書館との複合施設として設立されました。閲覧室や展示室・文書庫の他、225名収容の視聴覚ホール、香川県の各種情報を映像を通して入手できる情報フロア等、一見に値する先進的施設です。大会会場からは、借上バスにて御案内いたします。

##### ②会場

施設見学以外の一連の大会行事の会場となるのは、香川県教育会館「ミュージックホール」、公立学校共済組合高松宿泊所「ラポール・イン・タカマツ」です。両会場は、併設の施設で連絡通路でジョイントされています。くれぐれも、施設見学先の香川県立文書館（大会会場から直線距離約8km）とお間違えのないように御来場ください。

##### ③申込締切

大会参加申込	8月31日（日）
→開催県事務局（香川県立文書館）	
宿舎予約	9月30日（火）
→JTB高松支店	

##### ④問合せ

全史料協大会企画委員会事務局（埼玉県立文書館 原・岡田 TEL048-865-0112）

（岡田英行 埼玉県立文書館）